

よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

月刊

# 同友

10<sup>2022</sup>月号

vol.675

MONTHLY COMMUNICATION MAGAZINE DOYU



特集

北九州支部

## 北九州経営者大交流会

労使見解に学び、社内環境を整える  
～挑戦する人を評価する～

重松 和孝 氏 (有限会社コンサルティングオフィス)

福岡県中小企業家同友会

 広報情報部  
Facebook



[デザインQR]

21世紀型  
自立型  
企業づくり

## 同友会 3つの目的

### よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して、企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

### よい経営者になろう

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

### よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

### 今月の表紙

私が重松さんを紹介します!



株式会社 液化ガス  
代表取締役  
須堯 正彦 (飯塚支部)



有限会社 コンサルティングオフィス  
代表取締役  
重松 和孝 氏 (飯塚支部)

詳しくは本誌8ページへ

重松さんとの出会いは、私が同友会に入会した十数年前にさかのぼります。  
「やせ型・メガネ・堅物な雰囲気・見た目も話している内容からみても、この人はどう考えても年上やな…」まさかの年下でした。  
私が重松さんにつけている個人的なキャッチフレーズは「若年寄」。しかし、そう思わせるだけの豊富な知識と経験・行動力があり、困ったときにはいつも的確なアドバイスを示してくれます。これまでも、支部や地区の役

員を務めいつも中心に立ち、会員を牽引してくれています。  
同友会での学びと実践も実直に遂行し、最近では労働環境の改善や働き方改革などにも目をむけ、社員の皆さんにとってやりのある仕事づくりに取り組まれているそうです。  
変化の激しい保険業界において常に前を見据えて行動を起している重松さんですが、身に付きすぎたせいか実際の体重増加が気にかかります。十数年前、刺しゅう入りのジーンズを履きこなしていたあの頃を思い出していただき、実践の一環として、今後は健康管理(体重管理)にもしっかり目を向けて頂きたいと思います。  
これからも、社業・同友会での益々のご活躍を祈念いたします。

### 撮影後記



有限会社コンサルティングオフィスは、40年にわたる地域に密着した経営がお客様との信頼を築いている会社です。

重松さんは1979年生まれの43歳で、二代目の社長さんです。温厚な人柄が表現された写真が撮れました。取材のご協力ありがとうございました。

撮影・文/株式会社ココイメージ 富谷 正弘(玄海支部)

## 大牟田柳川信用金庫は 地域を支える皆さまのご相談にお応えします!!

大牟田柳川信用金庫は、お客さまとの対話を重視し、お客さまが抱える多様な課題やニーズに柔軟かつスピーディーに応えることが出来る業務体制を構築していくことで、「地域から必要であり続ける金融機関」を目指してまいります。

### 1 創業・新事業を応援します

- ・創業者を資金面でサポート  
日本政策金融公庫と連携した創業パッケージローン「3UP」
- ・WEBサイト「しんきん創業の扉」  
セミナー・イベントの案内等支援メニューを準備



### 2 販路拡大をバックアップします

- ・非対面でマッチング!!WEBビジネスマッチングサイト「しんきんコネクト」
- ・新事業への挑戦を後押し!!クラウドファンディング

### 3 事業承継をサポートします

- ・外部機関と連携した事業承継の支援体制
- ・中小企業庁「M&A支援機関に係る登録制度」へ登録



### 知的財産マッチング【開放特許活用をコーディネート】

大牟田市や関係団体と連携・協力し、地域企業の新商品開発や新事業展開を目的として、大企業等が保有する「開放特許」の活用を推進してまいりました。

2022年2月に開催した「知的財産マッチングイベントwith広域連携交流」において、大企業と地元企業のコーディネートに努め、今年8月にライセンス締結に至りました。



開放特許ライセンス契約調印式  
(令和4年8月22日)



わが町 応援隊  
大牟田柳川信用金庫



# 北九州経営者大交流会

## “会員増強のきっかけづくり”

北九州支部は2022年6月14日（火）に3年ぶりとなる第2回経営者大交流会を開催しました。当日は会員52人、ゲスト89人の計141人が集い、大成功をおさめる催しとなりました。ゲストが多数を占めるという他に類を見ないこの取り組みについて取材しましたのでご紹介します。

文：林田 孝一（KOHO株式会社／ひびき支部）



北九州支部 支部長

浮城 守氏

UKISHIRO MAMORU

（浮城興産株式会社）

### Interview

支部長に聞きました！

#### 「経営者大交流会」とは？

一言でいうと「会員増強」に向けて、支部を勢いづけるためのお祭りのようなものです。未入会の多くの経営者の方々に来ていただいで、「同友会を知ってもらい、入会していただく」ところまでつなげるために開催しています。

6月の第2回経営者大交流会では、参加者同士で食事をしながらの交流に加え、「同友会に入会してみよう」と題した会員からの同友会活動の報告、「同友会内協業・マッチング事例紹介」と題した会員同士のビジネス交流やそこからの波及事例の報告も行いました。

交流会後のアンケートでは、「さっそうく入会したい」との感想も5名程からいただき、その後の入会につながりました。

#### はじめたきっかけは？

第1回を開催した2019年当時、支部では新しく役員になられた会員の方も増えてきていて、役員会の中でも「他の経営者団体に比べて同友会は知名度がない」「多くの経営者に知ってもらい、入会していただく機会をつくりたい」「そのための盛大な催しをしてはどうか？」との声が出てきていました。

こうして第1回経営者大交流会を開催することになり、100人以上のゲストに参加いただく催しとなりました。しかし第1回は「まずは知ってもらおう」に重きを置いていて、とにかく声をたくさんかけて100人以上のゲストを集めたのは良かったのですが、実はその後の入会がゼロでした。



第1回北九州経営者大交流会の様子(2019年)

#### 第1回開催で得た確信

第1回開催後にゲスト参加者の入会につながられなかったことは反省点でしたが、100人以上のゲストに参加いただいた成果を見れば「工夫をすれば増強につながる取り組みになる」という確信を得ることができました。

第1回翌年の2020年に新型コロナウイルスの感染流行が発生し、支部の会議や第2回開催の検討もままならない一年が過

#### 第2回開催に向けて

ぎ、コロナ禍に慣れてきた2021年、私が支部長に就任した年に第2回を計画することになりました。

第2回を計画するにあたり、交流会を通して「入会につなげる」取り組みにすることを意識しました。第1回は手当たり次第にゲストを集めた側面も否めず、「実は入会資格がなかった」なんて方もいたようでしたから「入会資格のある方」に声をかけることを確認し、ゲストの参加目標を80人と決めて160人の候補者リストをつくることになりました。支部内に4ブロックありますから1ブロック40人のリストづくりです。交流会を知らせるチラシを作成し、「参加有無の責任は問わないが、必ず候補者にはチラシを届けること」を徹底したところ、結果として「200人の候補者リスト」が完成しました。200人分も集まったことは正直驚きでしたが、「チラシを届けるだけ」という活動のハードルの低さが功を奏したのかもしれない。

また、第1回ではプログラムが不十分で、乾杯の後に会員報告は設けていたのですが、参加者のみなさんが交流に気をとられて報告を聞く状況ではなかったで

すし、その後の区切りも悪くて、だんだんと帰っていくような感じになってしまったことは反省点でした。第2回では乾杯前後の会員報告や、ゲストで参加されていた他団体（北九州青年会議所や北九州青年経営者会議など）の方にも会の紹介時間を設けるなど「メリハリのある当日運営」にしました。

#### 3度目の正直

第2回の開催は当初2021年8月でしたがコロナの感染が流行して延期、2022年1月に2度目を計画しましたが、これも感染が流行して延期、3度目の正直として、2022年6月によく開催することができました。1度目も2度目も開催直前まで支部のみならず力も合わせて準備を進めてきたなかでの延期判断はつらいものがありました。コロナの流行次第では延期もありうる催しですから、代替案として通常の例会準備も同時進行で、行っていました。担当ブロックの役員はさぞ大変だったことと思います。

#### 第2回開催が残した財産

第2回の開催を迎える迄はみんな準備のことで頭がいっぱいでしたが、無事終

えたあとの役員会で気づいたことがあります。参加者集めのためにつくった「200人の候補者リスト」。これはそのまま「入会対象者200人のリスト」になるぞと。9月はじめの役員会の前には、当日来ていただいた89人のゲストの方を、各ブロックの会員で手分けしてすべて訪問しようと計画しています。例会に参加いただいで「同友会の本来の姿」を見てほしいと思っています。

#### 交流会の先の展望は？

私自身は来期で支部長を交代予定なので、第3回の計画については次期支部長にバトンタッチしたいと思いますが、第1回・第2回と積み重ねたものを生かしていければ、300〜400人規模の催しにだってできると思います。

ただ、交流会はあくまで「会員増強のきっかけ」であって、会員それぞれが常に新しい仲間を誘って会員がどんどん増える、そんな同友会になっていければと思います。



全体の様子(第2回交流会)

## Comment 02.

### 経営者大交流会の運営に関わって

入会者を増やすために



北九州支部 副支部長

**古賀 亨氏**

KOGA SUSUMU  
(株式会社ベルサービス)

第1回の問題点としていたゲスト参加者からの入会について、今回は、多くの入会者を増やす目的として企画を進めてきました。

いかに同友会を知っていただくかを役員全員で意見を出し合い、同友会会員になっての感想や取り組みについて入会3年未満の会員からの発表とビジネスマッチング事例の発表という2つの報告企画を盛り込むこと

次回開催に向けて

大盛況で開催できましたが、次回の開催も見据え、この取り組みや開催への思い、運営に関わった役員からの感想や見えてきた問題点をスプレッドシートに募り、記入してもらいました。次回開催が決定した際は、それらをいかしてほしいと思います。

で、同友会を身近に感じていただき、会の特徴を伝える事としました。

ゲスト参加者を増やすため、各ブロックにゲスト目標人数を伝え、参加者リストをスプレッドシートで作成し、いつでも参加者が決まれば入力でき、皆さんで共有できる方法をとりました。各ブロック会員の熱心な協力もあり、多くの参加者を募ることができました。

この経営者大交流会は北九州支部会員みんなの力で企画、開催したと強く感じています。自分たちができる事、しなければならぬ事、どうしたら新入会員になってもらえるかなどを共有、理解し合える良い取り組みになったと思います。

## Comment 03.

### 新たなつながりで意欲湧いた交流会



北九州支部

**吉村 将氏**

YOSHIMURA MASASHI  
(吉村保険事務所)

企画・運営は支部長・ブロック長をはじめ、先輩会員さんが行ってくださったので、いかにゲストさんと呼べるかが私の使命だと思っ大交流会に臨みました。結果として私は多くのゲストさんと呼ばれたわけではありませんでしたが、同じ想いの会員さんや勢いのある若手新会員さんが積極的に声をかけたことにより、大変盛り上がった大交流会が実現したのではないかと思います。

ゲストさん同士が積極的に会話していたことが印象に残っており、私の招待したゲストさんには、同業種つながりができたことをすごく喜んでいただきました。私自身は普段あまり関わらなかった同ブロック・他ブロックの会員さんと交流ができたことで、さらに同友会への参加意欲が湧きました。



懇談の様子(第2回交流会)

## 第2回北九州経営者大交流会

2022年6月14日(火) 18:30~21:00

### プログラム

- 開会
  - 三つの目的唱和
  - 支部長挨拶
- 同友会紹介ビデオ
- 同友会に入会してみよう(同友会活動報告)
  - 4人の会員報告
- 乾杯~懇談会・名刺交換
- 同友会内協業・マッチング事例紹介
- 他団体紹介・名刺交換
- 締めの挨拶
- 閉会



同友会内協業・マッチング事例紹介



受付



三つの目的唱和



他団体紹介



同友会活動報告



懇談・名刺交換

# 労使見解に学び、 社内環境を整える

〈挑戦する人を評価する〉



## 業界の動向

1996(平成8)年に金融ビッグバンの改革が進められました。銀行・証券・保険の3分野において、市場原理が働く自由な市場・透明で信頼できる市場・時代を先取りする市場の3原則に基づいています。1999(平成11)年には57万社あった損害保険代理店も2020(令和2)年には3分の1に統廃合・淘汰されていきました。保険業法も改正を重ね、監督する金融庁は意向把握義務・情報提供主義・体制整備義務を指導してきます。

「PDCAを徹底して代理店に教育・指導・管理を求めてきました。ルールを守るだけでなく、組織化して『顧客本位』の高品質な経営を求められています」と重松さんは話します。

最近では、価格破壊につながるネット保険や異業種からの参入などもあり、厳しい経営環境となってきました。

## 比較的早い事業継承

同友会で学び、自分なりに『経営指針書』を作成しました。経営理念は父親と相談して次の通り策定しました。

「常に地域No.1のプロ代理店を目指し、お客様の生涯の安心パートナーとして、最良の商品を提供する事を使命とし

ます。」

「父はスーパー営業マンでした」と重松さんは話します。経営環境は前述のように金融庁の指導で組織化が求められ、IT化の波も押し寄せてきています。そこで早めの事業継承を考慮して代表者の交代を勝手に経営指針書の中に盛り込んでいたそうです。その時点でそれを見ていた父親は何も言及しなかったそうです。

30歳で結婚した重松さんの結婚式で、父が挨拶で突然「事業を継承します」と発表したのです。

来賓のお客様は言うまでもなく、重松さんが一番驚いたと言います。

翌年(2012年)、31歳で二代目に就任しました。なお、父親は会長職に就き現在でも現場に出ています。

## 社内の整備

外的環境の変化で、社員は増えていきました。経営理念でも謳うように「お客様に寄り添うこと」で実績も上がっていききました。しかし、重松さんは「目がお客様ばかりにいており、社内に向いていないのではないかと考えるようになりました。」

同友会の『労使見解』を自社の経営に落とし込んでいくことにしました。

経営理念には次の項目が付け加えら

有限会社コンサルティングオフィス 代表取締役

# 重松 和孝 氏

【飯塚支部】

比較的早めの事業継承をした(有)コンサルティングオフィス。かつて個人事業者が多かった保険業で、組織経営を目指して同友会の学びを実践していくのでした。

## 後継者として入社

今回の取材先、(有)コンサルティングオフィスは、重松和孝さんの父親・守さんが1979(昭和54)年に飯塚の地で創業した保険代理店です。

重松さんは、1981(昭和56)年に生まれて高校まで飯塚で過ごし、大学は工学部に進みました。

本人は家業を継ぐ気はなかったと言いますが、学生時代からファイナンシャルプランナーの資格を取得するなど、父親の背中を見て育った影響は大いにあるようです。保険会社に就職して1年半ほど修行して、後継者として実家に戻りました。

取引先のフジキ印刷(飯塚支部)の勤めで23歳という若さで同友会に入会します。「年上の経営者ばかりで、初めは



取材/広報部  
文章/菅原 弘(東支部)  
写真/富谷正弘(玄海支部)



何を話しているのかわかりませんでした」と重松さんは振り返ります。

紹介者の手前、一年間はまじめに参加しようと心に決め、参加しているうちに役職が回ってきて、結果的に同友会で深く学ぶこととなります。



れました。

「全社員が物心ともに豊かな人生を築くため、地域同業界No.1の労働条件を目指し、社員の個人的成長と企業の組織的發展に努める」

具体的には、就業規則や労務管理の整備から始めました。有給休暇も取りやすい環境をつくり出しています。「私に子どもができたので、まさに自分事としてこうなれば都合がいいと思うところを改善していきました。半年遅れで、他の社員にも子どもが生まれ、効率よく運用されていきました。」

さらには、10年ビジョンを策定しました。社員との共有を図るため、社内ですべてWOT分析を行いました。そこで1時間ほど重松さんは席を外したそうです。

戻ってみると、社員が想像以上に考えて

いることに感動を覚えました。そして経営者と社員の課題に対する考え方の違いが明確になったのが良かったと言います。

「嬉しかったのは、S(強み)のセクションに『わが社はホワイト企業』とあったことです」と目を細めます。

## データ分析による これからの戦略

SWOT分析で確認した強みは他にもあります。「40年にわたる地域密着の経営」。これがお客様との信頼を構築しています。

売上の7割が個人のお客様です。保険業と言えば、統計を基盤とする業務です。積み重ねられたデータは分析により今後の動向を読むことができ、地域における自社の存在意義が見えてきます。

自動車事故はここ数年、技術革新の結果で事故率が減少しました。しかし、被害金額が増加しています。今後、人口減少や自動運転の普及で事業の拡大は見込めないでしょう。そこで新しく攻める分野として、法人向けのリスク管理が挙げられます。経営者の認知症リスクやサイバーリスク、知的財産権などが挙げられます。「中小企業の経営者が、認知症になり経営がおぼつかなくなったら、大変なことですよ。多くの会社がりスク対策

## 2022年度

# 新卒入社2年目3年目 社員フォローアップ研修 レポート



8月29日(月)振興センターにて新卒入社2年目3年目社員フォローアップ研修が開催されました。今回は共同求人委員会と共育委員会初となる共同で実施されました。社員31名経営者15名の参加があり、他社の同期と語り合い、より前向きに仕事に取り組むモチベーションを持ってもらうための研修となりました。

当日は先輩社員2名による報告と(株)ライズ 高尾英正氏(福友和支部)による講義、グループ討論が繰り広げられました。

事務局:有馬



## 2022年度 第4回 理事会だより

開催日時 2022年8月24日(水) 14時30分~17時02分  
会場 WEB会議システムZoom  
出席数 43名(出席率95.6%) 議長 山田 秀樹 (副代表理事)

### ○会議資料の事前配信及び各自準備の徹底について

会議資料の事前配信を徹底し、会議参加者自身による会議資料の準備(PC等へのダウンロードまたは印刷)を徹底することが確認されました。方針としてSDGsやカーボンニュートラルの取り組みも掲げているので、再度徹底していくこととなりました。

### ○規程の改定および入会申込書・退会申出書の変更について

組織運営規程、地区運営細則、支部運営細則、本部・室・特別委員会・委員会運営細則、諸団体との提携等に関する規程が改定となりました。また、入会申込書と退会申出書が変更となりました。

### ○会員の動き

#### 【表彰】同友エコ2021受賞企業<同友エコ奨励賞>

- ・(株)大匠建設 井上 真一 氏(博多支部) ・(株)今村組 今村 成剛 氏(大牟田支部)
- ・シーエススチール(株) 松原 照明 氏(かすや支部)
- ・(株)ヒューマンライフ 中山 英敬 氏、西原 琢也 氏、高橋 俊治 氏(それぞれ南支部)
- ・ベルテクネ(株) 鐘川 喜久治 氏(西支部)、前田 努 氏(福友和支部)、鈴木 幸男 氏(南支部)、鐘川 貴一郎 氏(かすや支部)

★理事会議事録の詳細はe.doyuの「文書管理」にある「理事会議事録」にてご覧ください。

## 私たちは『気づかせ屋』。法人向けの さまざまなリスク対策をご提案します。

に乗り出していないのが現状です。私たちは『気づかせ屋』として提案営業しなければならぬと考えています」

また、毎年のように水害に見舞われる九州エリアにおいて、BCP(事業継続計画)の観点からも提案をしています。具体的に「会社が被災した。その時、会社と従業員を守れますか」と呼び掛けています。地域のハザードマップを加味した保険の提案をしています。



災害に関しては、最近、悪徳業者が「無

料です」「保険で対応できません」と甘い言葉で近づいてくる例があるとを絶ちません。身なりもきちんとしていて、HPもしっかりしているケースが多いです。災害現場をローラーしてきます。安易にハコを押さないように。地元で看板を上げている業者に相談してください。クーリングオフを過ぎると取り返しがつかなくなりです」と警鐘を鳴らしています。「そういう意味では同友会のネットワーク(税理士・弁護士・司法書士・不動産業・自動車修理業など)は信頼ができて迅速な対応で助かっています」と重松さんは言います。

昨年、取り扱っている保険会社から新たな『がん保険』が発売されました。メーカーサイドからは、販売マニュアルが送られてきますが、同社では採用しませんでした。まず全員が自宅で行える最新のがんスクリーニング検査を受けました(検尿で線虫という虫を使う検査)。「じつは私自身、がん化する直前のポリープが見つかりました。説得力が増しますよね。そしてこの保険のどこがいいと思うかを社内でディスカッションし、がんという病気についても徹底的に研究しま

した。みんなで話し合った結果、お客様に商品の説明ではなく、健康診断や検査の大切さを訴えていくようにしました。同社の実績は大幅に伸びたそうです。

### 全社一丸体制の社風づくり

取材の最後に、重松さんが考える自立型企業についてお伺いしました。「保険代理店はメーカーとして独自の保険をつくることはできません。お客様が困ったときに担当の顔が浮かぶように社員が一丸となって力を合わせて、地域に必要とされるようめざしていきます。まず当たり前のことを当たり前にやっています。まず当社でしようか。私の場合、社員が当社で長く働きたいと思えば、自己成長できるように、働く環境を整備していきます」

従来、社内会議は会長と社長ばかりが発言していました。そこで重松さんは社内の組織を変えて、全員に部門の責任者になってもらいました。教育管理・お客様の声対応管理・事務指標管理・個人情報管理・損保営業推進管理・生保営業推進管理などがあります。会議は全員が発言するようになり活性化されています。今後は新卒採用に向けて社内の環境整備や教育マニュアル作成なども視野に入れています。

**有限会社コンサルティングオフィス**

創業 1979年2月1日  
住所 飯塚市中326-3  
電話 0948-22-7081  
従業員数 8名  
事業概要 損害保険、生命保険、  
確定拠出型年金、保険相談診断

<https://ag-consulting-office.com/>

「社員のする失敗で会社が潰れるようなことはありません。自分が思っているより社員は有能です。社長はコンプライアンスに徹することです。社内環境整備や社風づくりが私の仕事です」と締めたいいただきました。

取材協力ありがとうございます。

今回の女全交委員会では、七つの各部に男女各一名の部会長を設置しています。女性部がやっている女全交というイベントなので、男性としては参加しにくいかもしれませんが、今回は男性にもぜひ参加していただきたいと思えます。

これまで、男性がずっと引張ってきた高度経済成長の時代と今とは明らかに違います。その中で、女性や障がい者、高齢者が働く環境を作る必要が出てきました。いわゆる弱者が活躍する社会になってきているということです。

そこに男性が持つ能力を融合させることで、今からの未来が見えるなら、一緒に見てみたい。そういう横連携がこれから必要なのだろうと思っています。

**男性にぜひ参加してもらいたい**

**来** 年度に控えた「第26回女性経営者全国交流会 in 福岡」のテーマは Welcome “CHANGE”です。その意味や女全交への思いを、事前勉強会の例会を担当している「おもてなし部会」の淀川洋子部会長にお話を伺いました。

**事前勉強会の予定**

2022年 11月 4日(金)  
第1回女全交おもてなし勉強会

報告者 株式会社Bビーイング 代表取締役  
塚崎 ひとみ 氏(玄海支部)

2023年 2月 3日(金)  
第2回女全交おもてなし勉強会

報告者 株式会社グローバル・クリーン 代表取締役社長  
税田 和久 氏(宮崎同友会)

2023年 4月 7日(金)  
第3回女全交おもてなし勉強会

報告者 未定

※予定は変更になる可能性があります。 ※e.doyu等でご案内いたします。

**第26回  
女全交in福岡を  
来年6月に開催！**



女全交in福岡PRチラシ▲

2023年3月に創立60周年を迎える福岡同友会は、記念行事として、来年6月、北九州市で「第26回女性経営者全国交流会in福岡」を開催します。開催に向けて、女性部委員会を始めとする、全県の男女80名からなる委員会メンバーたちはすでに始動しています。

女全交in福岡 PR動画



**Welcome “CHANGE”の  
意味**

今回の女全交は Welcome “CHANGE”がテーマとなっています。今の日本はすでに成熟している夜の時代と言えます。人口が減少し、労働力が不足している中で、従来型の働き方ができなくなってしまっています。昔は仕事のできる人をロールモデルにして、みんながその真似をするという形で良かったのですが、今は色々な特性を組み合わせて仕事を組み立てる時代になっていますよね。

たとえば私は建設業ですが、これまで

け資材が高騰して、土地の値段が高騰したときに、建設業は何をやるのかが問われています。まず、そういう時代に入ったと認識すること、そして、自分たちが変わっていく必要があるということなのです。

Welcome “CHANGE”には大きく時代が変わっていく中で、経営者がそれを受け入れ、新たな自社の方向性を考えましょうという意味があります。

**事業の変革に  
求められるものは**

特徴を生かしましょうというものです。もちろん女性らしい男性、男性らしい女性もいますから、一概に男女という区分けはできませんが、それぞれの特徴を融合させる先に事業の変革があると思います。そして、そういうことを学ぶのが来年度の女全交の役割だと思っています。

だから男性も一緒に参加して、新しい自社の方向性を考えましょう、インプットがなければアウトプットもできませんから、女性と男性の考え方の違いを知って、自社の事業に役立てましょうということを目指しています。

来年度の女全交にはぜひ男性の会員さんにも参加していただいて、お互いに新しい時代の姿を見たいと思います。



おもてなし部会 部会長  
淀川 洋子 氏

総務部会 部会長  
清澄 由美子 氏

**REPORT**

**2023年女性経営者全国交流会  
in 福岡に向け**

**～女全交委員会レポート～**

つなぎ手 清澄 由美子 氏  
(福友愛支部)

聞き手 南 史聡 氏  
(西支部)

話し手 淀川 洋子 氏  
(筑紫支部)



**13 木** 18:00~20:30 **福博支部 10月例会**

THE 事業承継・アナザーストーリーズ 運命の分岐点  
～“チャラ男”といわれた社長が起こしたキセキ!～

- 天神 巧モクビル 福岡市中央区天神3-10-27 ☎092-715-3250
- 岩崎 徳男氏 東洋警備保障株式会社 代表取締役社長 (福博支部)

**15 土** 14:00~17:00 **すばる委員会 事業承継塾第3講**

事業承継時のトラブル

- 電気ビル共創館3階カンファレンスC  
福岡市中央区渡辺通2-1-82 電気ビル共創館 3F ☎0120-222-084
- 藤井 大祐氏 藤井・高田法律事務所 弁護士 (福友愛支部)

昨今、中小企業において「事業承継」は大きな課題として取り上げられています。いかにスムーズに受け継ぐことができるか。社長の「心意気」を伝え、企業の存在意義を受け継ぐことができるか。今後中小企業が生き残るために、事業承継を学ぶことは大きな意義があると考えます。承継するにあたって必要になる手続きや知識、心構えを学び、企業づくりに役立てるため、共に学びましょう!

**18 火** 18:30~21:00 **博多支部 10月例会**

あなたは経営の理想と現実のギャップをどう埋めますか?  
～私が下した苦渋の決断～

- 天神ビル 11F 9号室 福岡市中央区天神2丁目12-1 ☎0120-323-920 +WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)
- 鈴木 貴人氏 株式会社フリーランス 代表取締役 (博多支部)

自社の経営の中で、「こうしたい」という理想と、目の前の現実と悩むことはありませんか?経営をしていると、計画としてはしたいことがあるのに、現実の壁にぶつかってうまく行動に移せないことは多々あると思います。本例会は、鶏と卵でもある経営の「理想と現実」をそれぞれ見つめなおし、明日からのモチベーションに繋げることを目的とします。「自分だけが悩んでいるわけではない」という、経営者同士の想いの共有の場にもなることを目指します。

**18 火** 18:00~20:30 **中央支部 10月例会**

社員は会社の未来にワクワクしていますか?  
経営指針書を通じて理念とビジョンを見つめ直す

- チクモクビル大ホール 福岡市中央区天神3-10-27 ☎092-715-3250 +WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)
- 吉浦 茂弘氏 株式会社ティーディーエス 代表取締役 (東支部)

私達を取り巻く経営環境は依然厳しい状況が続いています。しかし我々経営者は目の前の状況に悲観し、社員と共にため息をついていいのでしょうか?この様な状況の時こそ、未来に対して明るい見通しを示し、周りの人達を巻き込んで士気を高めていくのが経営者の役割、あるべき姿だと考えます。運命のいたづらに翻弄されながらも自身の掲げた理念・ビジョンに突き進んでいった吉浦氏。それから波乱万丈、紆余曲折ありながらも新たな理念・ビジョンに向かって走り続けている報告を聞くことで理念・ビジョンの重要性を一緒に考えあいましょう。

**18 火** 19:00~21:00 **青年支部 10月例会**

青年支部を知ってもらう会 青年異業種交流会

- アクア博多 B会議室 福岡市博多区中洲5-3-8 3F ☎092-287-9500
- 檜原 孝則氏 CLANP 代表者 (青年支部)
- 木原 理絵氏 株式会社ABA STAFF 代表取締役 (南支部)

「よい会社をつくりたい」「よい経営者になりたい」「よい経営環境をつくりたい」という思いを持った経営者が、互いに学び合い実践する場が同友会です。報告者より青年支部がどんな所か、同友会に入会してどの様になったか、また自社における変化やコロナ禍による影響など、お話しください。

**18 火** 18:30~21:00 **福友和支部 10月例会**

理念を利益につなげる ～同友会で学んだこと～

- アクア博多 A会議室 福岡市博多区中洲5-3-8 3F ☎092-287-9500 +WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)
  - 宮脇 伸二氏 株式会社セールスアカデミー 代表取締役 (福友和支部)
- 利益を上げつつ理念を追求していくにはどのようにしたら良いか?自分がやりたいことは何か?理念と利益を追求しながら、会社経営を継続している経営者の体験から、理念に沿った経営、事業を継続させるため、どのような姿勢や考え方が必要かを学びます。

**18 火** 18:30~21:00 **玄海支部 10月例会**

ビジネス(コンセンサス)ゲーム

- 天神ビル 11号会議室 福岡市中央区天神2-12-1 ☎0120-323-920
- 久しぶりのグループ討論メイン例会! ブロック対抗! どのブロックがビジネスセンスがあるのか!? ご出席をお待ちしております。

**18 火** 18:00~20:00 **かすや支部 10月例会**

コロナ時代に打ち勝つ経営 千載一遇の好機

- 竹乃屋 福岡空港店 福岡市博多区下井778-1 国内線3階南側 ☎092-621-0020
  - 竹野 孔氏 株式会社タケノ 代表取締役 (東支部)
- 飲食店を多店舗展開する謝タクノ。コロナ禍でキャンセル2万件、年商も激減する中、これを「千載一遇の好機」と捉え、新たに6つの事業を立ち上げました。完璧よりもスピード、行動しないと答えは出ないと常に前向きな姿勢で成長を続ける企業の報告です。

**18 火** 18:00~19:30 **糸島支部 10月例会「知る会」**

同友会を知る会

- 割烹旅館山水荘 福岡市西区泉1-5-1 ☎092-806-1212
  - 平川 祐二氏 有限会社日高ボーリング工業 代表取締役 (糸島支部)
  - 石田 宜之氏 株式会社有田コーポレーション 後継者 (糸島支部)
- 同友会に入会すると自社の現状に気づくことができ、先輩会員から経営を学び実践することで自社が発展します。その発展する過程で経営者としての姿勢がどう変わっていったのか? 同友会に入会してからどう自社が変わっていったのか? などの報告と同友会の魅力を知ることができる内容を糸島支部会員の2名より報告していただきます。

**18 火** 18:30~21:00 **北九州支部 10月例会**

企業の数だけ経営スタイルがある  
よい経営者になるためのパートナー作り

- 小倉リーセントホテル 北九州小倉北区大門1-1-17 ☎093-581-5673
  - パネリスト  
服部 英俊氏 服部SD設計事務所 代表者 (北九州支部)  
藤崎 康臣氏 有限会社折尾電機製作所 代表取締役 (北九州支部)  
三嶋 優子氏 株式会社UGツボネ 代表取締役 (北九州支部)
  - コーディネーター  
久岡 貴弘氏 タクミク・ATR(同) 後継者 (北九州支部)
- 一人で経営している経営者、現場仕事をしながら経営している経営者、経営に専念している経営者がパネリスト形式で登壇します。自社の経営スタイルに応じたところに共感したり日々の課題や問題点を参考にしたたりするなど、経営体制を見直す機会にします。

**19 水** 18:00~21:00 **東支部 10月例会**

「働く」を面白くする! ヒトとテクノロジーの力  
今いる人材で新たな変化を起こすチームを作る

- WITH THE STYLE FUKUOKA 福岡市博多区博多駅南1-9-18 ☎092-433-3941 +WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)
  - 服部 真人氏 株式会社ロジック・ブレイン 代表取締役社長
- 従来のビジネスモデルだけでは回らない時代になってきています。そんな中で、今までの枠にとられない様々なチーム作りを行いながら事業を発展している株式会社ロジック・ブレインの服部社長に、これまでの沢山の経験や失敗したことなど実例を交えて報告していただきます。

**19 水** 11:30~19:00 **西支部 10月例会**

企業訪問日帰りツアー

- 合資会社若竹屋酒造場・巨峰ワイナリー・原鶴温泉 (※天神集合 現地までバス移動)
  - 林田 浩暢氏 合資会社若竹屋酒造場 社長 (りょうちく支部)
- 西支部、福岡から離れて日頃会うことのない他支部の企業を訪問し、楽しみながら繋がりを広めていければと思います。今回はりょうちく支部の林田氏を訪問。全国で経営指針セミナーの講師を長年されてきた林田氏。同友会に入るきっかけは先代社長(お父様)との確執だったそうです。酒蔵14 代目のお話を聞いてみましょう!

**19 水** 18:30~21:00 **福友愛支部 10月例会**

社員とともにある会社づくり  
～「誠心誠意、真心込めて」の追求～

- アクア博多 A会議室 福岡市博多区中洲5-3-8 3F ☎092-287-9500 +WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)
- 市丸 皓士氏 有限会社ファイン 代表取締役 (ひびき支部)

会社を存続・発展させていくためには、社員の方が必要不可欠です。しかし、なかなか社員が定着しない・育たないという悩みを抱えている経営者も多いのではないのでしょうか。そこで本例会において、今いちど自社における経営者と社員の関係を見つめ直し、双方が同じ目的に向かって働ける会社を作っていくためには経営者としてどうあるべきかを考える機会とします。

**19 水** 18:30~21:00 **りょうちく支部・日田支部 合同10月例会**

BESIDE COFFEE(日田市)のマーケティングについて

- WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)
- 飛田 努氏 福岡大学 准教授

世の中は、コロナ禍3年目に入り、withコロナが当たり前になり、リモートワークやオンライン会議など働き方の変革が急速に進んだ。勿論、人々の生活も大きく変わり、大勢で集まる機会が減り、宴会やイベントも形を変えている。そんな中、マーケティングにおいては、SNS利用から先のコミュニティの大切さが強く言われてきている。そこで、色んな企業とタイアップされたり、ゼミの学生が日田市でコーヒーショップをオープンしたりと様々な取り組みと関わりのある飛田先生にこれからのマーケティングについてお話を伺います。

**20 木** 18:20~20:50 **筑紫支部 10月例会**

理想の会社作りで気づいた採用と共有の重要性

- 筑紫野市生涯学習センター 筑紫野市二日市南1-9-3 ☎092-918-3535
- 福田 裕聡氏 株式会社スミリオン 代表取締役 (南支部)

会社の存続と発展を見据えた時、重要なのは人材です。採用にあたっての課題や採用後の社員教育、定着のための取り組みなど問題は山積しています。今回は福田さんに会社の未来を見据えた採用と共有の考え方と実践を報告していただきます。

**21 金** 18:30~21:00 **久留米支部 10月例会**

技能実習制度と特定技能制度の取り入れ方

- ハイネスホテル 久留米市天神町1-6 ☎0942-32-7211
- 島田 尚宜氏 福岡県企業振興会協同組合 理事

少子高齢化による人口減少、そして労働力不足による問題が年々大きくなっています。対策として、IT化やDX化が推奨されていますが、どうしてもマンパワーが必要な業種もあります。人口減少が止まらない今の日本で、どのようにして人材を確保するか? 今回の例会ではその解決策の一つとして、技能実習制度・特定技能制度について学びます。

**24 月** 18:30~21:00 **飯塚支部 10月例会**

もしもの時の会社経営 ～経営理念に基づく事業継続計画～

- パドドゥル・コトブキ 飯塚市片島1-7-62 ☎0120-225-138
  - 上原 晃一氏 株式会社ユナイテッドファム 代表取締役 (田川支部)
- 経営者の責任として不測の事態に備え、災害や感染症などの様な時でも社員と顧客の安全を確保し、事業を継続していかなければなりません。実際に社内で経営理念に基づくBCPを作成し、実践している上原さんの報告を基に、会社を本気で守る経営者の覚悟を学んでいきます。

**25 火** 18:30~21:00 **南支部 10月例会**

私たちは歩み続ける ～200年企業を目指して～

- 天神チクモクビル 福岡市中央区天神3-10-27 ☎092-715-3250
- 新内 一秋氏 株式会社筑紫工業 代表取締役 (南支部)

父親が創業した会社を20年前に承継し、同友会でいまま真摯に学び続けている新内 一秋氏は、環境が変化してピンチになろうとも諦めることなく、社員を一番に考えながら事業を維持、発展させて来ました。変化に強い会社を作ってきた経営体験を報告していただきます。

**25 火** 19:00~21:00 **大牟田支部 10月例会**

思考プロセス

- 大牟田文化会館 大牟田市不知火町2-10-2 ☎0944-55-3131
  - 井上 真一氏 株式会社大匠建設 代表取締役 (博多支部)
- 外部環境の変化と共に、自社の役割も変わる可能性があります。「新しい切り口や「新しい捉え方」などを考え、今後の自社の発展を創造しましょう。

**25 火** 18:30~21:00 **田川支部 10月例会**

私が愛した同友会の魅力(案)

- たがわ情報センター 田川市番田町2-1 ☎0947-49-3220
  - 平田 美穂氏 中小企業家同友会全国協議会 前事務局長
- 田川支部は設立6年目と比較的新しい支部である事から、同友会活動を自社経営に生かしていない会員も少なくありません。そこで、多くの事例の中から同友会活動をどのように自社経営に生かしているのかを学びます。

**25 火** 18:30~21:00 **企業連携推進本部 FAST10月例会**

**27 木** 18:30~21:00 **ひびき支部 10月例会**

自社に求められるブランドマーケティング  
自社や自分の強みはなんですか

- 黒崎市民センター(予定) 北九州市八幡西区藤田4-1-1 ☎093-641-4106
- 大浜 大地氏 福萬醤油 代表者

大浜氏はIT業界から醤油業界へ参入し、福萬醤油7代目を継承しました。醤油製造及び販売元として全国展開、海外展開を進めています。異業種への挑戦や自社のマーケティングや販売戦略について可能性を広げるきっかけとなる例会です。

**28 金** 18:30~21:00 **のおがた支部 10月例会**

【同友会】と【のおがた支部】を知る会

- エクセレントガーデン 直方市頓野4069-9 ☎0949-26-8808
- 森 勇馬氏 直方駅前法律事務所 代表者 (のおがた支部)
- 須藤 司氏 農業人 代表者 (のおがた支部)

会員が総力を挙げてゲストの皆様をお招きし、おもてなすことでゲストの皆様にも【同友会】と【のおがた支部】をご理解いただき、多くの新入会員が誕生すること、更に会員の絆と知識を深め、のおがた支部を強化することを本例会の目的とします。

### 第182回フォローアップセミナー

**10/27 木** 18:00~21:00 **同友会会議室**

- 福岡市博多区吉塚本町9-15 福岡県中小企業振興センタービル11F ☎092-686-1234





月刊

同友

10  
月号  
2022

vol.675

## 会員からの 投稿

このコーナーでは、会員のみなさんから寄せられた記事をご紹介します。

# ソーシャルビジネス委員会の活動

委員長 吉浦 隆紀

ソーシャルビジネス委員会は、自社に社会問題を組み込み、イノベーションを起こし、持続可能な経営モデル構築を目的に活動しています。社会課題を解決できる企業は、地域にとって必要な存在となり、信頼に繋がります。

今回、大牟田ビンテージのまち株式会社 代表 富山博史さんの会社視察と意見交換を行いました。大牟田市は、基幹産業だった炭鉱が無くなり、人口はピーク時より半減、消滅可能性都市にも選定されています。富山さんは、その荒廃した中心市街地の空き家、空き店舗を活かし、まちづくりを行っていらっしゃいます。

街の活性化に取り組む中で、様々な機関と連携が生まれ、連鎖的に多くの社会課題解決を行えていると感じました。行政や学生の参加もあり、新しいアイデアを得ることができました。みなさんも、一緒にソーシャルビジネスを学びませんか？



あなたの記事でこのコーナーを飾りませんか？

みなさんの投稿をお待ちしています。

**投稿方法** 郵送、メールいずれも可。  
表題に「月刊同友 会員からの投稿」とご記載ください。

**テーマ** 環境問題や、社会貢献、例会の様子、地域イベントなど、内容は自由です。

**送付先** 郵送/下記「月刊同友」編集部まで  
メール/ s\_asahi@fukuoka.doyu.jp  
(福岡同友会事務局 旭まで)

## “デザインQR”とは？

月刊同友675号より、表紙・自立型企業づくり・アンケートは、絵柄付きのQRコードを採用しています。スマートフォン等で読み取る場合は、従来の白黒QRコードと同じアプリを使って読み込むことができます。  
※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

### 一般社団法人 福岡県中小企業家同友会「月刊 同友」編集部

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号 福岡県中小企業振興センタービル11階  
TEL:092-686-1234 FAX:092-686-1230

#### 【北九州地区センター】

〒802-0001 北九州市小倉北区浅野1-2-39  
クルーズ浅野ビル 808号  
TEL:093-551-3111 FAX:093-551-3344

#### 【県南地区センター】

〒830-0038 久留米市西町1367-1  
祥栄ビル2階  
TEL:0942-33-3355 FAX:0942-33-3366



【デザインQR】

### 今月の『月刊同友』はいかがでしたか？

月刊同友では、皆様からのご意見・ご要望を募集しています。よろしければQRコードからアンケートにお答えください。

所要時間 約5分 回答締切 10月31日(月)

環境を守るため再生紙を使用しています。